

1. 単元名 「分数のかけ算」

2. 単元について

本単元では、乗数が分数になっても、乗法が適用できることを理解させていく。そして、既習の計算の仕方を基にしながら、分数×分数の計算尾志方を考えて、それを用いることができるようにする。その活動の中で、問題場面をより簡単な言葉に表したり、数直線や図に表したりすることで理解を深めたり、自分の考えを表現したりできるようにしていきたい。

単元で願う姿

| 意欲・関心   | 数学的な考え方   | 技能   | 知識・理解  |
|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>乗数が分単の場合でも、今までと同じように計算したり考えたりできるか、既習の方法を使って確かめようとしている。</li> <li>数直線や図を使って考えたり説明したりしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を数直線や図に表し、立式の根拠を明らかにすることができる。</li> <li>計算のきまりをもとにして、計算方法を考えている。</li> <li>既習事項をもとにして、計算方法を考えている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>分数×分数の計算を正しくできる。</li> <li>乗数の大きさから、積の大きさを判断できる。</li> <li>計算のきまりを活用して工夫して計算できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>乗数が分数でも、整数や小数の時と同じように立式できることを理解している。</li> <li>分数×分数の計算方法を理解している。</li> <li>分数の場合も、計算のきまりが成り立つことを理解している。</li> </ul> |

児童の実態

- 問題から分かることや求めたいことが何かを考え、立式し問題を自分の力で解こうとしよう意欲がある。
- 前時までの学習と比べて本時の課題をもち、今日学習することは何か、見通しをもって解決しようとする姿が多くなってきている。
- △本時に身に付けた事を使って自分の力で練習問題に取り組もうとする子が多いが、問題が変わると解くことに抵抗がある児童が多い。
- △既習事項を用いて自分で導き出した答えを出すことはできるが、図や式、言葉と関連付けながら、自分の言葉で表現し説明する力や相手の意見に対してつなげて発言する力が弱い。

見方・考え方を働かせ、数学的に考える児童を育てる指導の在り方

| 重点1<br>単位時間における数学的な見方・考え方を働かせる<br>数学的活動の明確化  | 重点2<br>数学的に考える児童を見届ける視点を明らかにした<br>指導改善（3つの見届けから）   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>帯分数どうしの計算を、整数と分数に分けて計算する方法と仮分数に直して計算をの2つの方法で計算する活動を通して、式と図と関連づけどちらの計算の仕方が正しいかを考え、仮分数に直してから計算するよさを考えさせる。</li> <li>単元における算数における言葉を明らかにし、自分の考えを揚言できるようにし、根拠をはっきり説明できるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎実態の見届け<br/>分数×整数のかけ算や分数同士のたし算などのレディネステストを行い、どの程度定着しているかを見届ける。</li> <li>◎授業中の学習状況を見届け<br/>仮分数に直して計算する方法と整数と分数に直して計算する方法の2つの方法でどちらが正しいかを図と式と関連付けながら、答えを明らかにしていることを確認する。</li> <li>◎授業終末定着状況を見届け<br/>仮分数に直して計算するよさを知り、練習問題で仮分数に直しながら正しく計算できているかを見届ける。</li> </ul> |